
■■ レインボーリボン メールマガジン 第26号

■■ 世の中、捨てたもんじゃない！

2016/5/31

こんにちは(^)代表の緒方です。

5月はレインボーリボンの第2回通常総会を開き、法人化3年目となる今年度の活動方針を決めました。

今年度の活動は3本柱となります。

- 1、PTAを誇り高いボランティア活動に。PTAにイノベーションを。
- 2、学校を子どもたちの楽しい居場所に。いじめのない学校をつくろう。
- 3、地域に子どもたちの「いのちの居場所」を。こども食堂の開設・運営。

メルマガ読者の皆さまには下から順番にご説明します。

まず、こども食堂です！

前号のメルマガを配信した直後、4月30日土曜日の午後1時から葛飾区男女平等推進センターの調理室で準備開始。

夕方5時過ぎから無料学習塾での勉強を終えた中学生、ボランティアで勉強を教えている大学生たちが続々と集結して、我々スタッフやゲストの大人たち、総勢33人で「パルこども食堂」の記念すべき第1回メニュー、カレーライスを食べました。

スタッフも子どもたちも最初は緊張で顔がひきつっていましたが、美味しい食事を食べ、簡単な自己紹介をし、じゃんけんゲームで景品をゲットする頃にはみんなが笑顔になっていました。

私が一番嬉しかったのは、一人親家庭のお母さんがお子さん3人と一緒に来てくれたこと。

「こども食堂」の名を全国に広めた先駆者、豊島WAKUWAKUネットワークの栗林知絵子さんがどんなに苦勞して子どものお母さんをこども食堂に呼んだかという話を知っていたので、まさか初回からお母さんに来てもらえるとは……。しかも、ゲームをして笑ってくれて、食後は食器洗いを手伝う子どもたちの姿を写真に撮ってほしいと、家ではこんな光景見られないからと言ってくれて、「また来月きます」と手を振ってくれたのです。

実は、私、家に帰ってから泣きました。あまりにも嬉しくて。

初回からこんなにうまくいったのは、ベースに無料学習塾や子どもたちの居場所を営々と運営してきた「ハーフタイム」という団体の存在があったからです。たかだか2年しか実績のない我々レインボーリボンだけでは、とても望めない成果でした。

3 日前の土曜日には第 2 回パルこども食堂を開催しました。

調理ボランティア、子どもたちを家まで安全に送る「送りボランティア」、食材を寄付してくださる方、「こども食堂 1 食オーナー」になってお金を振り込んでくださる方・・・。
こども食堂を始めたときから「世の中、捨てたもんじゃないな～」と、心がポカポカ、ポカポカ、あったかいです。

次に「いじめ防止」です。

いじめ防止プログラムを葛飾区に導入したいと運動し続けて 3 年。ようやく今年度は地元
の中学、複数校で「いじめ防止教室」を実施できそうです。

来年度、プログラムの本格実施を目指して、夏の指導者養成講座の準備に入っています。

最後に P T A イノベーション。

今年も都内いくつかの区から P T A 研修の講師に呼んでいただいております。

先週、台東区の広報研修が終わりました。いつも仕事の早い区の担当者が、その日のうちに
参加者アンケート結果を送ってくれました。

「非常に良かった」58%、「良かった」37%。合わせて 95%という満足度の高さは自慢でき
ると思います。感想欄には「今までの流れを変えたい」「がんばります！」という意欲ある
コメントがありました。

来月は新宿区の P T A 広報研修を請け負っています。

昨日、打ち合わせに行って来ましたが、区の担当者が頭を抱えているのは、このところの P
T A に対する風当たりの強さだと言います。「P T A は任意加入のはずなのに、実質、強制
加入になっている」というクレームが絶えないと。

私は「加入届け」を作ればいいのでは・・・と思います。P T A への加入を申し込む届出書
を一枚、保護者に渡せばいいのではないかなと。

そんなことをしたら加入しない保護者がいるのでは・・・と思いますよね。でも、加入しな
い人が多数派になると思いますか？ P T A がなくなってしまうと思いますか？

いやいや、世の中、捨てたもんじゃないですよ！

レインボーリボンの研修では必ず、「P T A のミッションは何ですか？」「子どもの幸せって
何ですか？」「あなたは何のために P T A 活動をしますか？」という問いから始めます。

すると、大多数の参加者は自分の頭で考え、「P T A で頑張りたい」という結論を出してく
れるのです。

(代表 緒方美穂子)

▼毎月 300 円（年 3600 円）でこども食堂の 1 食オーナーになりませんか？

子どもに提供する 1 食分の食材費 300 円を 1 口として、寄付を募っています。

口座名義：特定非営利活動法人レインボーリボン ●郵便振替口座：00170-7-44
9974 ●りそな銀行 青戸支店（店番号470）普通預金1520535

ご寄付くださった方はお名前、連絡先を下記レインボーリボン宛てにお知らせください。

▼かつしか区民大学「いのちの居場所『こども食堂』をつくろう」

公開パネルディスカッション 6月19日（日）10時～15時 葛飾区男女平等推進センター
（ウィメンズパル）多目的ホール 残席わずかです。葛飾区公式サイト
<http://www.city.katsushika.lg.jp/event/1000106/1011157.html> にて受付中。

▼地域貢献活動サポートデスク主催 まず始める！子ども支援 スタートアップ講座

7月10日（日）13時30分～15時30分 葛飾区亀有地区センター第2会議室

講師：レインボーリボン緒方、「なかよし」浦山太市先生 受講料無料 申込み：電話 03-
5670-7251 FAX03-5670-7252 メール chisapo@katsushika-syakyo.com

▼「いじめ防止プログラム指導者養成講座」

8月5、6、7日の3日間 10:00～16:30 葛飾区男女平等推進センター（予定）

講師：湘南DVサポートセンター代表理事 瀧田信之先生

受講料 8,000 円 rainbow_ribbon_mail@yahoo.co.jp にて受講申し込み受付中

▼オンライン署名サイト **Change.org** で『全国の小中学校 PTA の皆さんへ いじめ防止対策推進法第 15 条 2 項を実行しましょう。いじめのない学校をつくろう！』署名運動を行っています。

<https://www.change.org/ja>

にアクセスし、右上「検索」ボタンから半角英字「PTA」で検索してください。ご賛同、拡散をよろしくお願いいたします。

▼人身取引の被害者支援団体 NPO 法人ライトハウスの相談アプリ「ne-ne（ねーね）」が公開されました。このアプリからマンガ「Blue Heart ブルー・ハート」の電子版を読むこともできます。マンガを読んで、「自分もこういうことを経験したけど、誰にも言えずにいる。相談していいことなのかもわからない」という人がいたら、女の子も男の子も、ライトハウスに相談してください。匿名での相談も可能です。身近にいる子どもや若者たちにこのアプリをご紹介ください。

相談アプリ ne-ne : <https://s.lhj.jp>